

くすっ子



鴻巣市立屈巢小学校
学校だより
令和4年8月30日

《花いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい 屈巢小》

花をさかせる学校・夢をはぐくむ学校・笑顔あふれる学校

未来を創る子どもたちを育てる

校長 諏訪 けん

平和への誓い

あなたにとって、大切な人は誰ですか。 家族、友だち、先生。
私たちには、大切な人がたくさんいます。 大切な人と一緒に過ごす。笑い合う。
そんな当たり前の日常はとても幸せです。
昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。
道に転がる死体。 死体で埋め尽くされた川。
「水をくれ。」「水をください。」という声。
大切な人を一瞬で亡くし、当たり前の日常や未来が突然奪われました。

あれから77年経ちました。
今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。 戦争は、昔のことではないのです。
自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。
本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとすることです。
本当の強さをもてば、戦争は起こらないはずです。

過去に起こったことを変えることはできません。
しかし、未来は創ることができます。
悲しみを受け止め、立ち上がった被爆者は、私たちのために、平和な広島を創ってくれました。

今度は私たちの番です。
被爆者の声を聞き、思いを想像すること。 その思いをたくさんの人に伝えること。
そして、自分も周りの人も大切にし、互いに助け合うこと。
世界中の人の目に、平和な景色が映し出される未来を創るため、私たちは、行動していくことを誓います。

令和4年（2022年）8月6日

こども代表 広島市立幟町小学校
広島市立中島小学校

6年 バルバラ・アレックス
6年 山崎 鈴

【広島市ホームページより引用】

広島市平和記念式典で、子ども代表の「平和への誓い」が述べられるようになり、今年は28年目です。例年広島市内の小学生2名が代表となりスピーチをしていますが、その内容は、広島市内の多くの小学生の気持ちを踏まえて、代表の小学生が話し合っていて決めていることをこの夏初めて知りました。手順は、次のとおりです。

- ①「平和の大切さ」をテーマにした作文に応募した11012人の小学生の中から20名を選び、「こどもピースサミット（会議）」を開く。
- ②会議では、4人1組のグループに分かれ、「思いやりの心を持つことがお互いの理解につながる」など「平和への誓い」に盛り込みたい内容・言葉を出し合い、文案を作成。

※①の20名が、②の前に意見発表会を行い、スピーチする代表児童2名を選出しているとのことです。

「未来は、子どもたちが創るもの。その子どもたちをいかに導き育てるのか、その責任が、私たち大人にはある。」ということを強く感じた今年の平和記念式典でした。子どもたちの力には無限の可能性のあることをこの「平和の誓い」から気づかされます。その可能性は、屈巢小の子どもたちも同様と捉え、10年後、20年後の社会を力強く生きる力を学校・家庭・地域が一体となって育成できるよう、2学期も本校職員は、頑張ります。

保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力を引き続き、よろしくお願い申し上げます。